

2016年 3 月期

決算説明会

2016年6月 6 日



日本パーカライジング株式会社
NIHON PARKERIZING CO.,LTD.

目 次

- I． 会社紹介
- II． 2016年3月期 連結業績概要
- III． 中期経営計画 概要
- IV． 2017年3月期 業績見通し

I. 会社紹介



企業理念

地球上に限りある資源の有効活用を図り、あらゆる素材の表面改質を通じて資源の新しい価値を創造し、地球環境の保全と豊かな社会作りに貢献する。



会社概要

会社名	日本パーカライジング株式会社
代表取締役会長	小野 駿
代表取締役社長	里見 多一
本社所在地	東京都中央区日本橋 1 - 1 5 - 1
創立	1 9 2 8 年（昭和 3 年） 7 月 1 2 日
資本金	4 5 億 6 千万円（ 2 0 1 6 年 3 月現在）
売上高	1,090億円（ 2 0 1 6 年 3 月期）
上場	東証一部 1 9 6 7 年
その他	J P X 日経 4 0 0 構成銘柄（2014年1月組入） グローバルニッチトップ企業 1 0 0 選（2014年3月認定）

当社は、1928年に創業し、2018年で90周年を迎えます。日本パーカライジングは、1915年に、米国のDr.Parker氏が開発いたしました、鉄にリン酸塩皮膜を施し、錆びを防止する技術の国内におけるパテントを譲り受けたことからスタートいたしました。当初は、主に陸軍省へこの技術を展開しておりましたが、戦後のモータリゼーション等の発展に伴い、当社事業も拡大してまいりました。

株式市場関連トピックス

➤ JPX日経**400**構成銘柄（2014年1月組入）

JPX日経400は、東京証券取引所の市場第一部・二部、マザーズ、JASDAQを主たる市場とする普通株式を母集団とし、

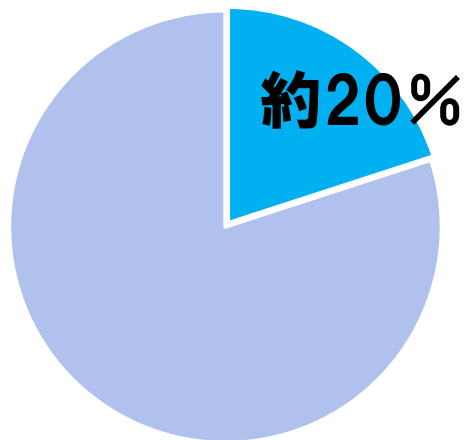
- (1) 適格基準・市場流動性指標によるスクリーニング
 - (2) 定量的な指標（3年平均ROE、3年累積営業利益、時価総額）によるスコアリング
 - (3) 定性的な要素（独立した社外取締役の選任、IFRSの採用、決算情報の英文開示）
- を加点したスコアリングを経て選定した400銘柄からなる株式指数

➤ グローバルニッチトップ企業**100**選（2014年3月認定）

経済産業省が、大企業の場合（製造業は資本金3億円超・従業員300人超）、特定の商品・サービスの世界市場の規模が100～1000億円程度であって、過去3年以内において1年でも、20%以上の世界シェアを確保したことがあるものを対象として選定

市場シェア（自動車塗装下地表面処理）

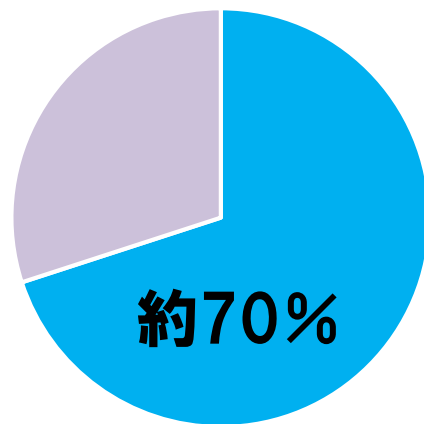
世界シェア



シーズ開発から製品開発までを一貫して行い、国内から海外までの製品展開を視野に入れた迅速で柔軟な研究開発活動を行うことによって、自動車塗装下地表面処理の分野で、世界シェア約2割を獲得

対日系自動車メーカーにおける世界シェアは約7割を獲得

対日系自動車メーカー



（※自社調べによる）

グローバル・ネットワーク

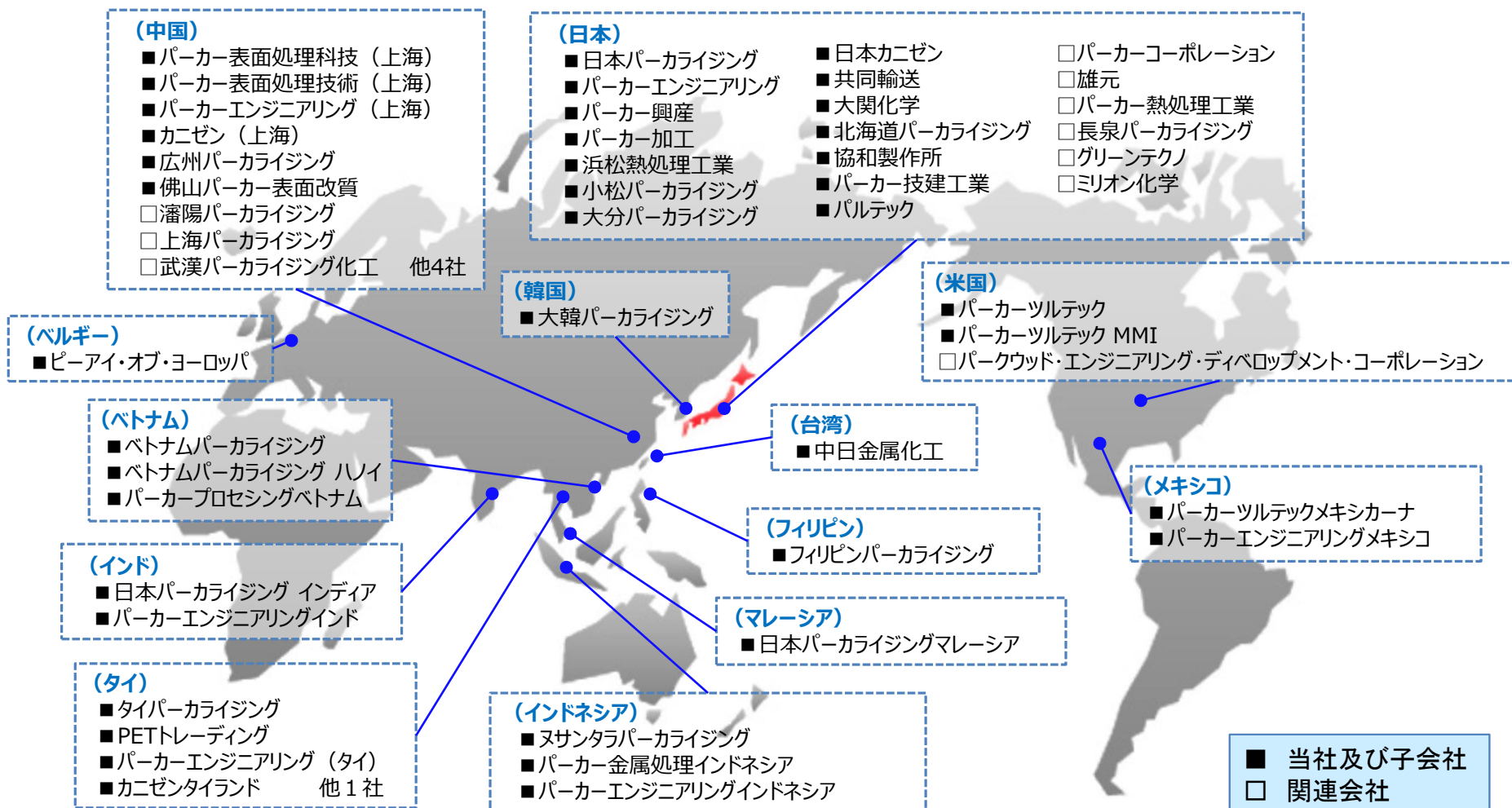
世界15ヶ国のネットワーク



※子会社、関連会社及びその子会社を含む

関係会社一覧 (2016年3月31日現在)

子会社43社、関連会社12社のネットワーク



あらゆる産業分野へ表面改質技術で貢献

表面改質事業

薬剤開発

受託加工

装置製造

航空
宇宙

化学

建材

自動車

鋼製
家具

農機

醸造

エレクトロニクス

電池

エネルギー

鉄鋼

家電

金属

飲料缶

ガラス

防衛

電機

非鉄

ゴム

機械

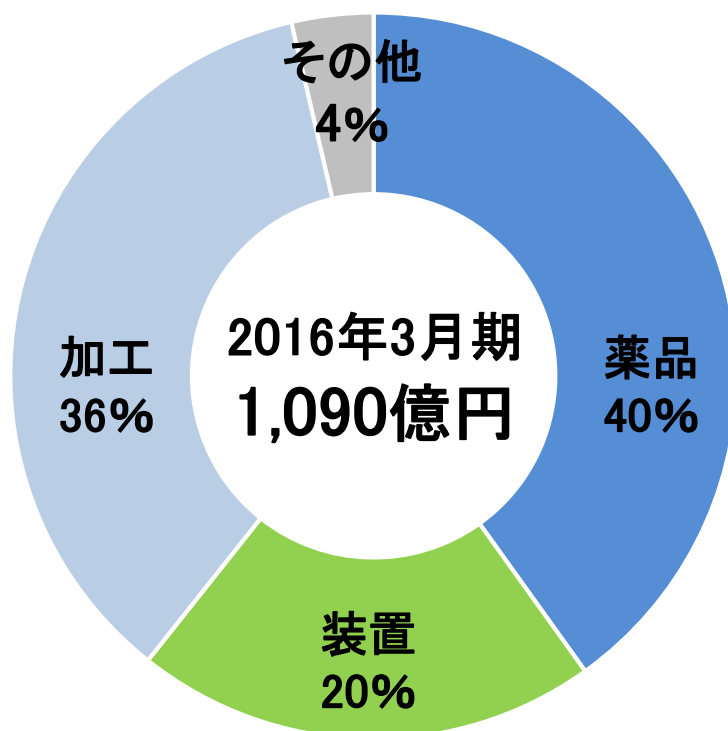
電鉄

工具

食品

建設

事業内容と売上構成割合



セグメント別売上高

薬品事業

化成処理薬剤
圧延潤滑油
防錆油
無電解めっき液

装置事業

前処理/電着塗装装置
排水処理設備
粉体塗装装置
熱交換器

加工事業

防錆加工
めっき加工
熱処理加工
塗装加工

その他事業

建物のメンテナンス工事
金属板試験片の製造販売
ボルトの製造販売
鉄鋼製品の輸出

薬品事業 ～多様な表面処理薬剤の提供～

自動車



鉄鋼



飲料缶



航空機



電子部品



表面改質であらたな付加価値提供を実現

装置事業 ～表面処理プラント～

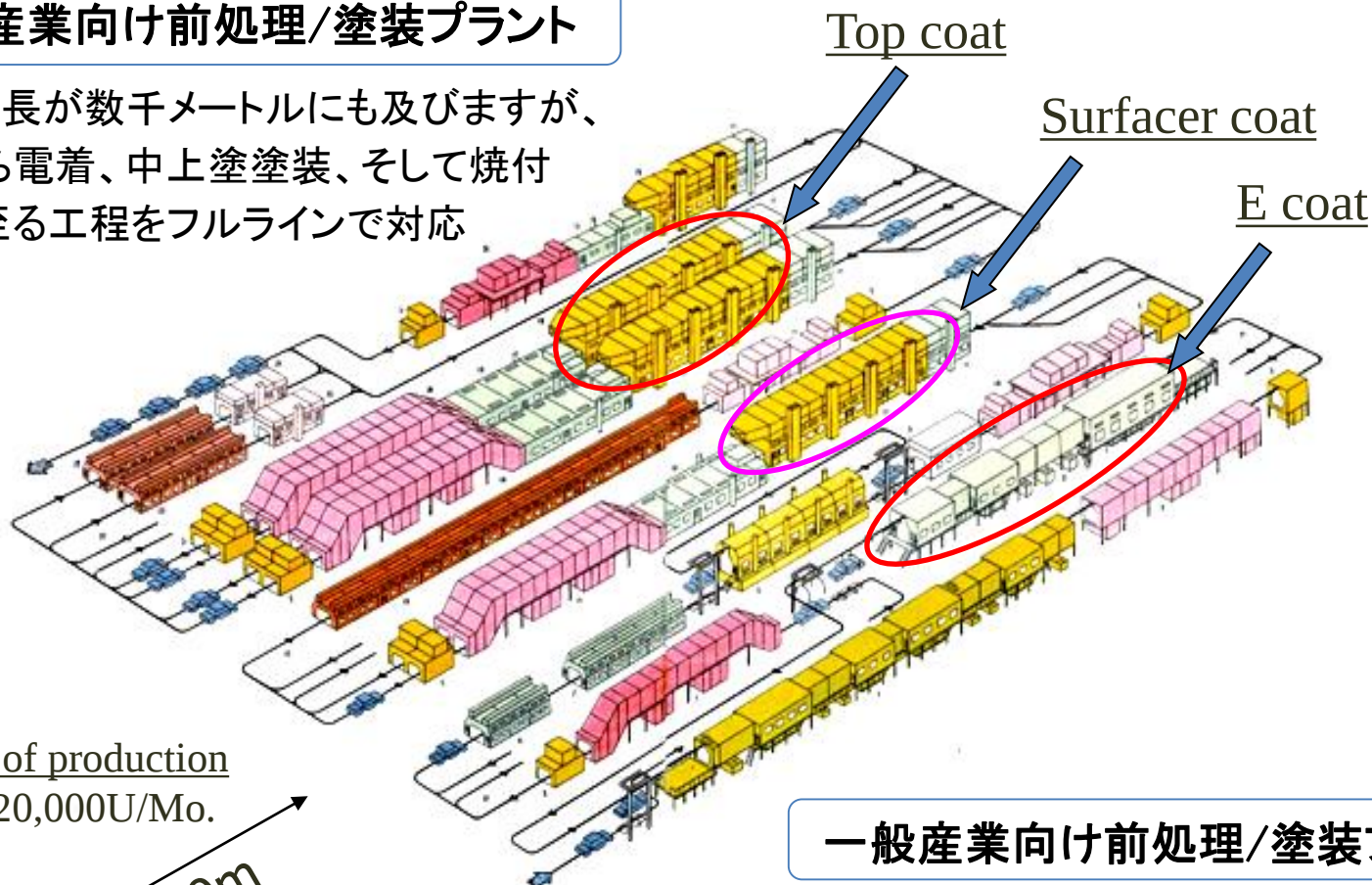
自動車産業向け前処理/塗装プラント

コンベア全長が数千メートルにも及びますが、前処理から電着、中上塗塗装、そして焼付乾燥へと至る工程をフルラインで対応

Capacity of production

≒ 20,000U/Mo.

150m 200m



一般産業向け前処理/塗装プラント

建材等重量物の前処理・電着塗装や、航空機等の大型製品の塗装・乾燥炉一体型ブースなど、多種多様な製品にも対応

装置事業 ～排水処理・粉体塗装・熱交換機～



排水処理設備

排水成分に応じた最適なシステムで低ランニングコストを実現



粉体塗装装置

静電気の力を利用して、塗料を付着



熱交換機

より少ないエネルギーで効率的に昇温、冷却が可能

加工事業 ～化成処理・めっき処理～



化 成 処 理

防 錆 塗 装

塑 性 加 工 用 潤 滑 処 理

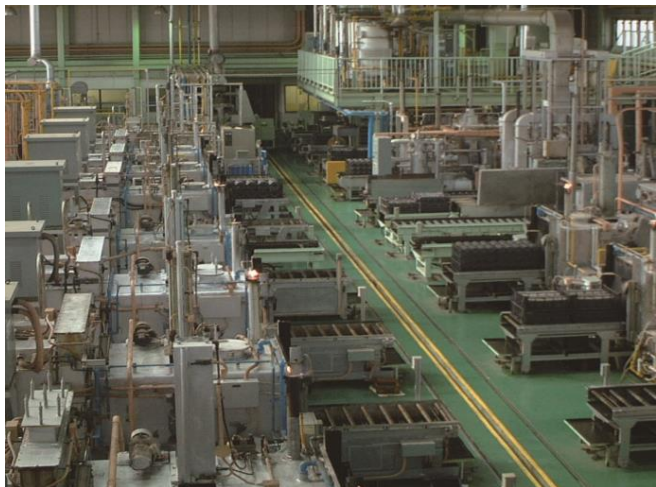
固 体 潤 滑 処 理

無 電 解 ニ ッ ケ ル め っ き 処 理

複 合 め っ き 処 理

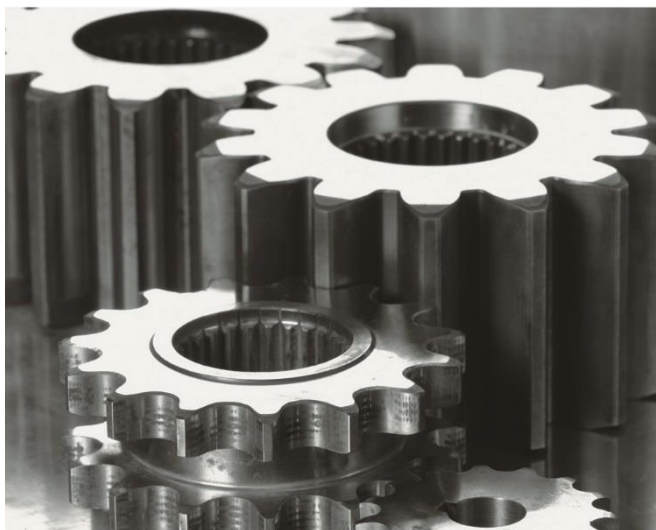


加工事業 ～熱処理～



ガ ス 浸 炭

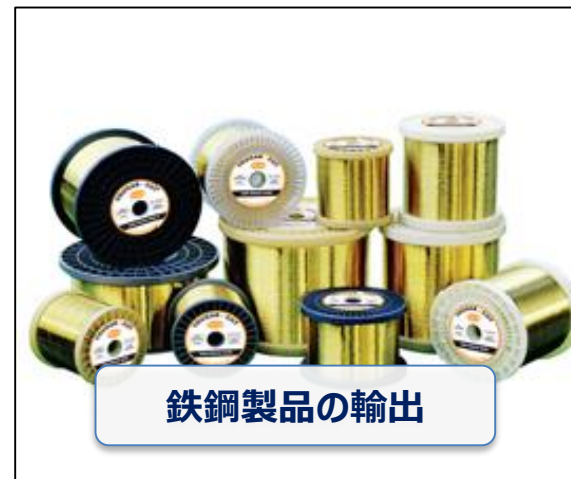
ガ ス 軟 窒 化



イソナイト®(塩浴軟窒化)

PVD／CVDコーティング

その他事業



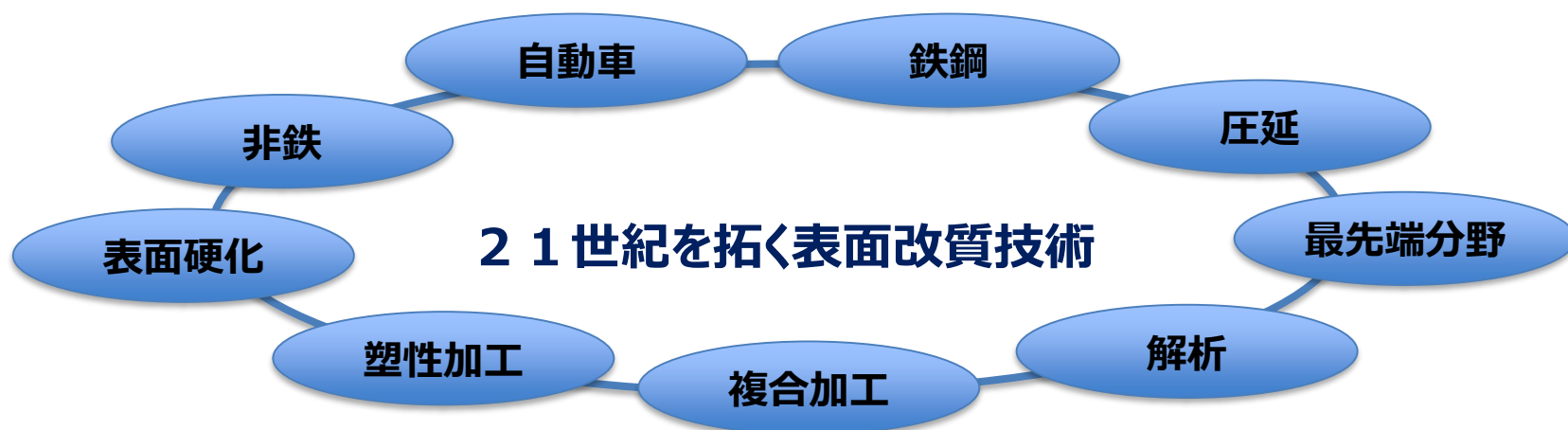
研究開発



総合技術研究所(神奈川県平塚市)

各事業領域を網羅した基礎研究・技術開発・製品開発を総合技術研究所を中核として行い、技術開発活動の発信拠点としております。

シーズ開発から製品開発までを一貫して行い、国内から海外までの製品展開を視野に入れた、迅速で柔軟な研究開発体制の構築を目指しております。



Ⅱ. 2016年3月期 連結業績概要



重点施策への取り組み

薬品事業

高品質、低コストに繋がる高付加価値技術の開発を推し進め、市場優位性を確保

海外各国の現地ニーズに対応した製品をスピーディに市場に投入

ヘンケル社(独)とライセンス契約を更新、新たな分野で代理店契約を締結

重点施策への取り組み

装置事業

国内では自動車業界以外の需要拡大

海外ではアジアを中心として自動車メーカーの設備投資需要の取り込み

メキシコ法人の設立

競合との差別化を図るとともに、資材調達
の現地化、部材のユニット化などコスト削減

重点施策への取り組み

加工事業

旺盛な海外需要を確実に捉えるため、
メキシコ、中国、タイなどを中心に生産設備を増強

原価低減に努め、市場競争力を確保

連結業績 前期比較

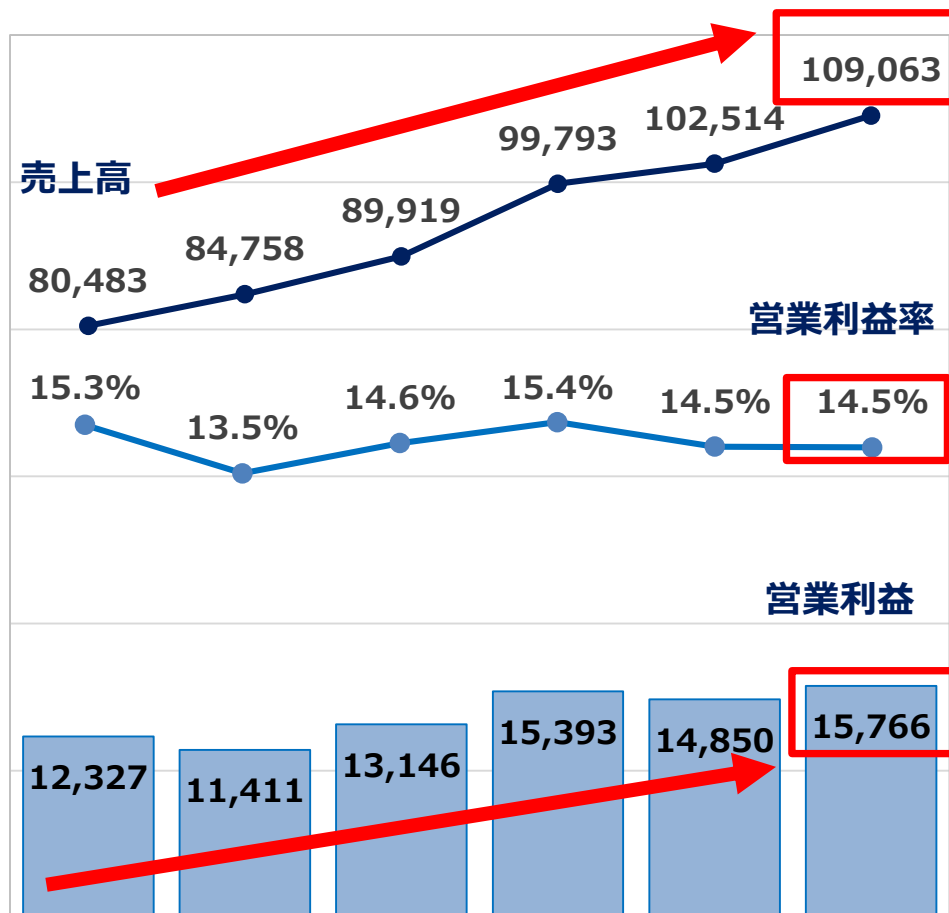
単位:百万円

項 目	2015/3	2016/3	増減	増減率	
売 上 高	102,514	109,063	+6,549	+6.4%	過去最高額を更新 海外売上高比率45.7%
売 上 総 利 益	37,735	40,436	+2,701	+7.2%	
営 業 利 益 (営業利益率)	14,850 (14.5%)	15,766 (14.5%)	+915	+6.2%	過去最高益を更新
営 業 外 損 益	2,602	2,154	△447	△17.2%	為替差損566百万円
経 常 利 益 (経常利益率)	17,453 (17.0%)	17,921 (16.4%)	+468	+2.7%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,975	10,320	+345	+3.5%	過去最高益を更新
総資産経常利益率 (R O A)	9.9%	9.5%	△0.4%		ROA8%以上を維持
1 株 当 たり 利 益	80.45円	83.24円	+2.79円		

円安による影響:売上高+約34億円、営業利益+約5億円

連結業績の推移

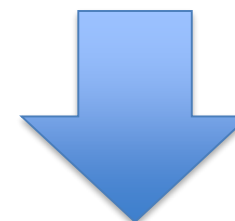
(単位:百万円)



2011/3 2012/3 2013/3 2014/3 2015/3 2016/3

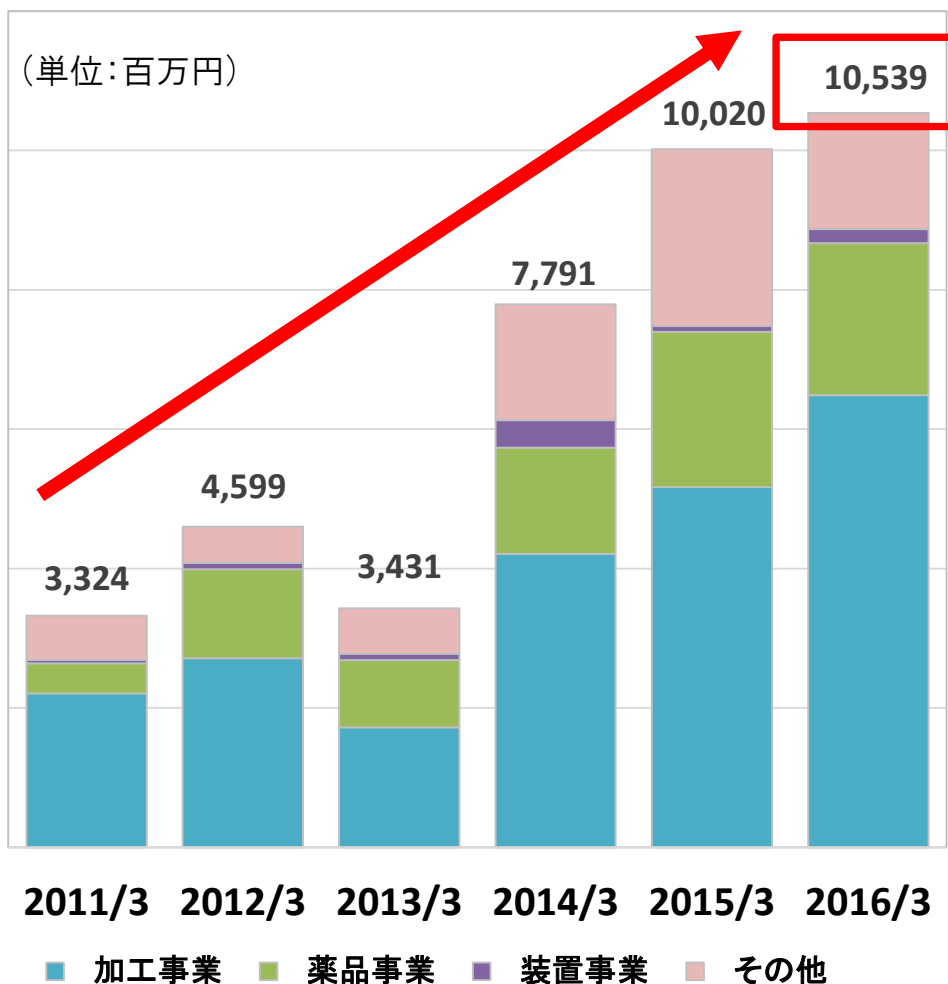
売上高については、堅実に右肩上がりで推移

営業利益も増加基調で推移



営業利益率は14%前後で推移

設備投資額の推移



旺盛な海外需要を着実に捉えるため、メキシコ、タイ、中国などを中心に生産設備を増強



2016年3月期の主な設備投資額

メキシコ 2,247百万円

タイ 1,750百万円

中国 1,268百万円

減価償却費は4,633百万円
(前期比+928百万円)

設備投資 ～メキシコ～



パーカー ツルテック
メキシカーナ
(グアナファト工場)

炭 浸 炭 炭
化 窒 窒 化
ト イ ト イ
ガ ス ガ ス
ガ イ ソ ナ イ ト



設備投資 ~タイ~



タイパーカライジング

親水性処理設備の増設等



設備投資 ～中国（佛山）～

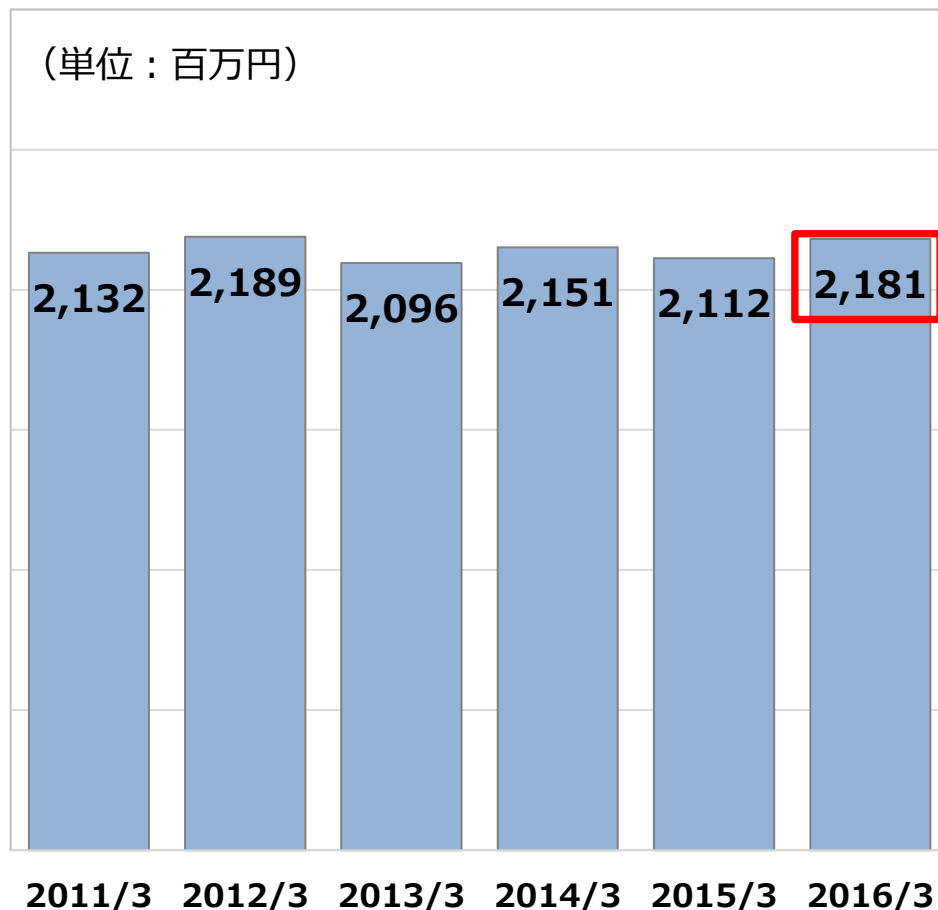


佛山パーカー表面改質有限公司
第二工場

ガス浸炭炉増設等



財務指標の推移－研究開発費



近年は防錆のみならず、素材の表面に機能を付与するという「新たな価値の創造」を念頭に開発を行っており、研究開発費に毎期20億円以上を継続的に投資



μ-X線光電子
分光分析装置

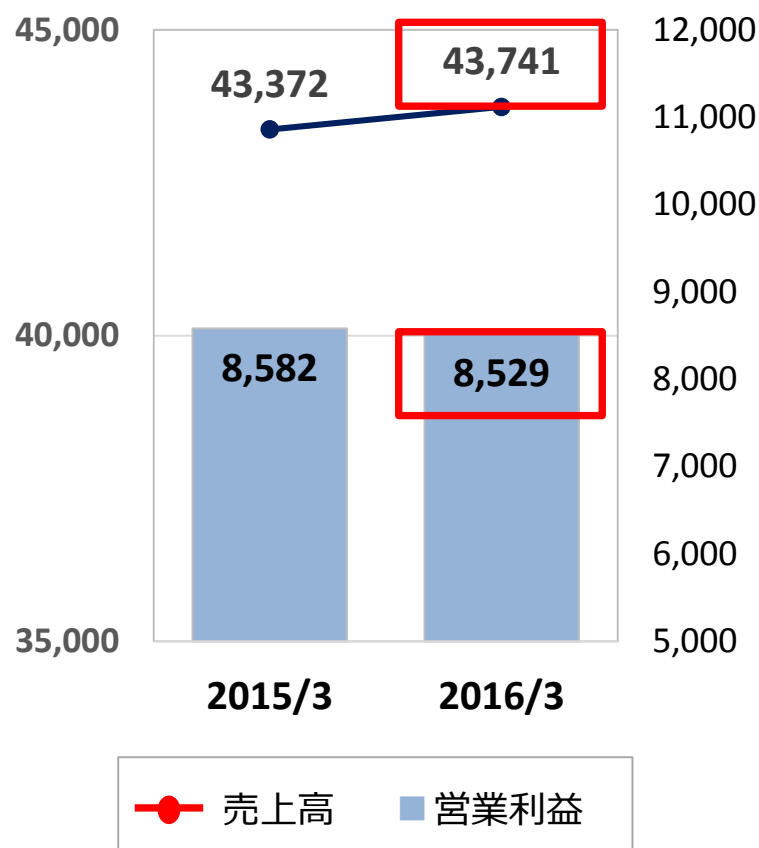
電子線
マイクロアナライザー



次世代自動車(軽量化、素材変更等)への対応など、新たな表面機能開発のための研究開発投資を継続的に実施

セグメント別業績 前期比較（薬品事業）

（単位：百万円）

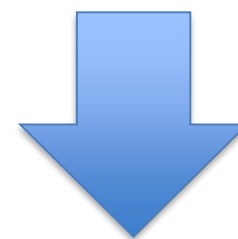


※売上高は、外部顧客への売上高です。

※営業利益は、セグメント費用の配賦方法変更後の数値です。

売上高は前期比+369百万円(+0.9%)

営業利益は前期比△52百万円(△0.6%)



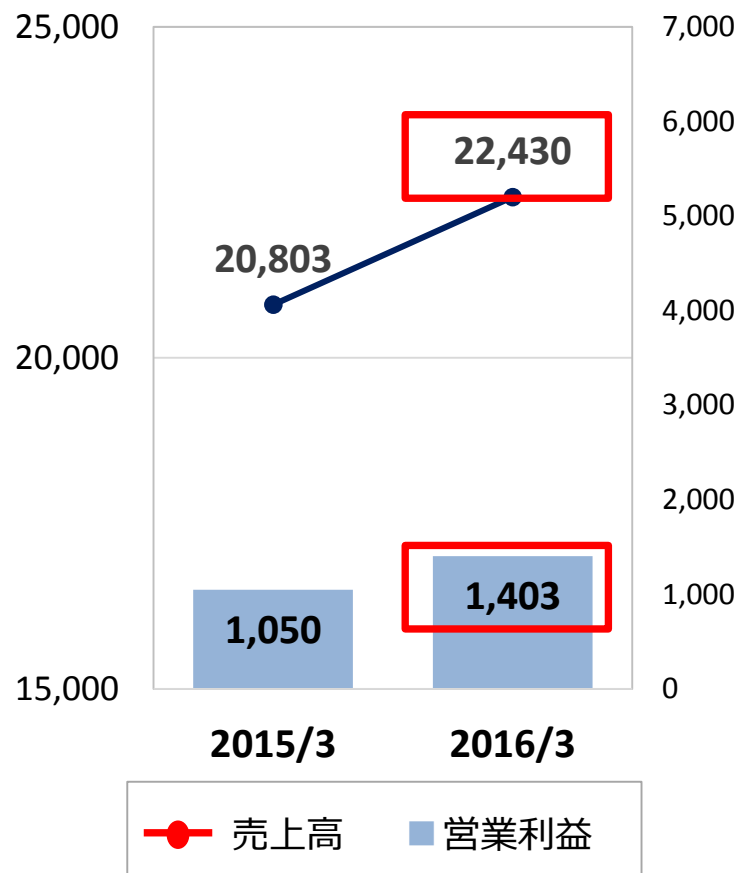
国内では、自動車生産が低調に推移した結果、減収

海外では、円安の影響も加わり、円換算後の業績は比較的堅調に推移

営業利益は、アジア地域での人件費増加等により減益

セグメント別業績 前期比較（装置事業）

（単位：百万円）

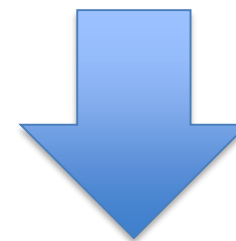


※売上高は、外部顧客への売上高です。

※営業利益は、セグメント費用の配賦方法変更後の数値です。

売上高は+1,626百万円(+7.8%)

営業利益は+353百万円(+33.7%)



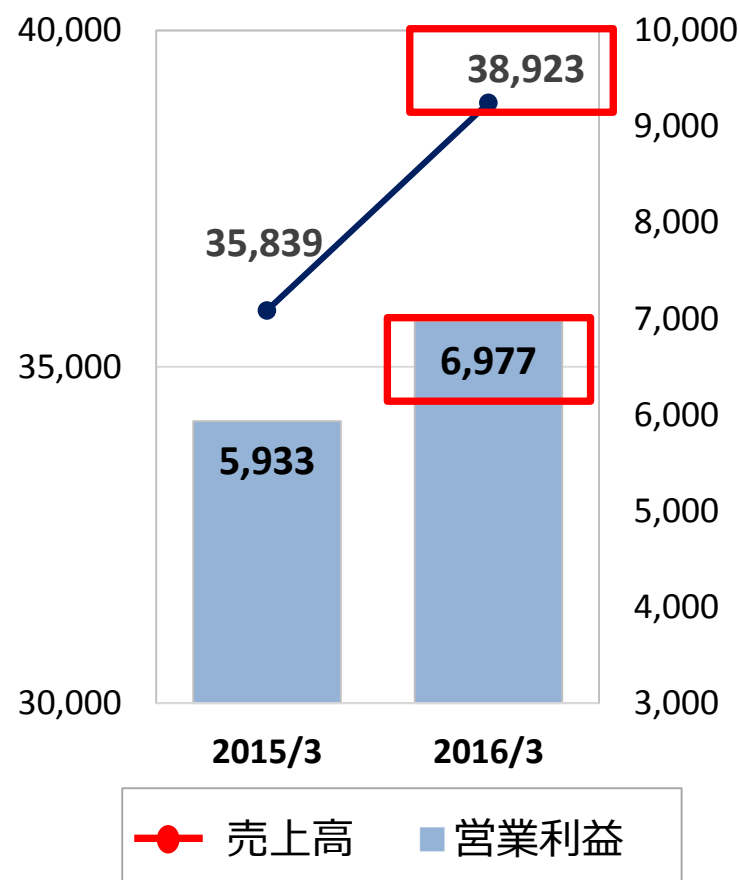
国内では、減収で推移

海外では、中国、インドネシアで大型の設備物件が検収され、売上高は過去最高を更新

営業利益も増益

セグメント別業績 前期比較（加工事業）

（単位：百万円）

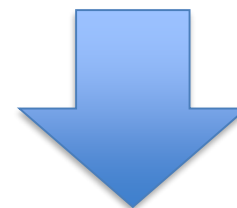


※売上高は、外部顧客への売上高です。

※営業利益は、セグメント費用の配賦方法変更後の数値です。

売上高は+3,084百万円(+8.6%)

営業利益は+1,043百万円(+17.6%)



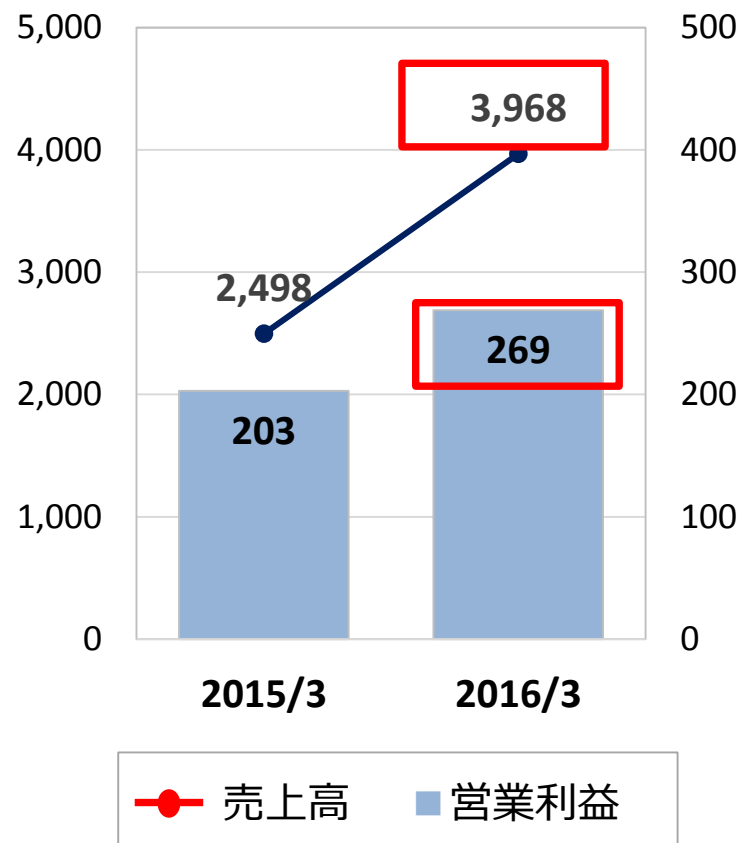
国内では自動車部品生産の海外シフトの影響により、依然厳しい状況で推移

海外では、中国の熱処理加工の売上高が大幅に増加した他、米国、ベトナムも堅調に推移

インドネシアは、自動車生産の減産から厳しい状況で推移

セグメント別業績 前期比較（その他事業）

（単位：百万円）

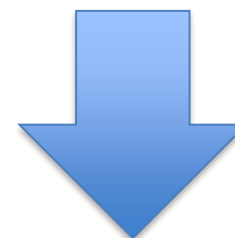


※売上高は、外部顧客への売上高です。

※営業利益は、セグメント費用の配賦方法変更後の数値です。

売上高は+1,469百万円(+58.8%)

営業利益は+65百万円(+32.4%)



ビルメンテナンス事業が堅調に推移

ボルト製品の製造・販売を営む連結子会社1社が加わり増収増益

2016年3月期の配当予定

【2016年3月期 配当予定】

第二 四半期末	期末	合計	配当性向 (連結)	配当性向 (単体)
7.5円	9.0円	16.5円	19.8%	33.1%

※先行きの景気動向や業績状況を見極めるのは大変困難となっており、様々な要因により変更する可能性があります。



2016年3月期の期末配当金は1円50銭増配

Ⅲ. 中期経営計画の概要



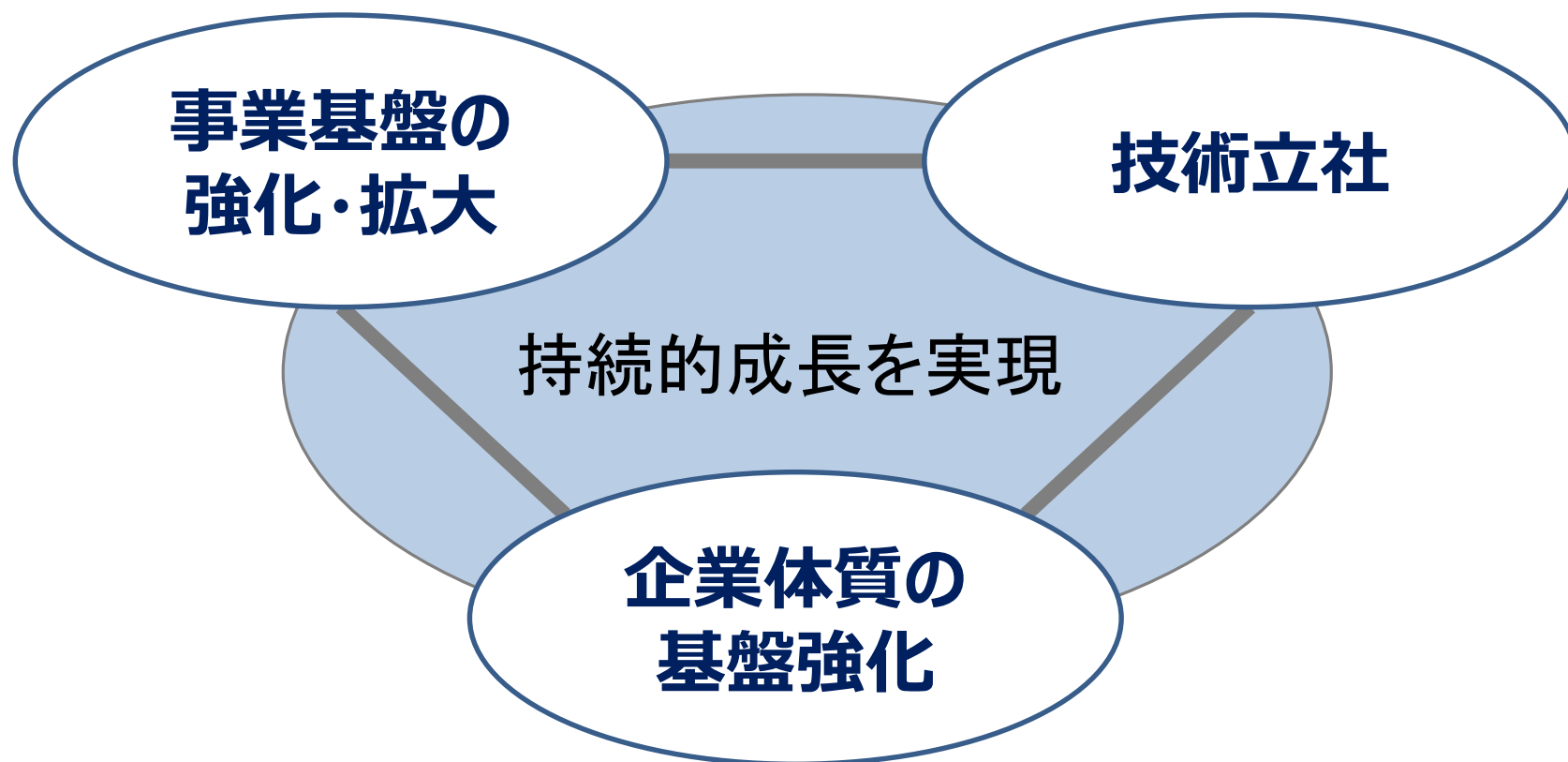
中期経営計画-数値目標

単位: 百万円

項 目	2016/3	2019/3	増減率
売 上 高	109,063	120,000	+10.0%
営 業 利 益 (営業利益率)	15,766 (14.5%)	19,000 (15.8%)	+20.5%
経 常 利 益 (経常利益率)	17,921 (16.4%)	21,000 (17.5%)	+17.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,320	12,000	+16.2%
総資産経常利益率 (ROA)	9.5%	更なる向上	
R O E	8.9%	更なる向上	

中期経営計画 基本方針

あらゆる素材の表面改質の分野で市場における技術的な優位性を維持し、
表面改質分野に於けるグローバル・リーディング・カンパニーを目指す！



事業基盤の強化・拡大

国内外のグループ連携強化を行い、
積極果敢にグローバルマーケットに挑戦する！

既存事業の 維持・拡大

- 顧客に密着した営業活動による顧客満足度(CS)の向上
- マーケティング機能の強化
- ブランド力の強化

新規市場 の開拓

- 航空機産業、電子部品産業などへの進出拡大
- 用途開発による需要創造

表面改質事業 の拡大

- あらゆる素材の表面改質の分野に挑戦
- 技術導入・提携・投資(設備、買収)拡大等の模索

海外事業 の強化

- 積極的な設備投資
- 戦略製品の拡販
- 海外ローカルメーカーの開拓

新たなビジネス モデルの創出

- M&Aやアライアンスを積極的に検討
- 新たなビジネスモデルの創出に挑戦

技術立社

**表面への機能を追求し、
構築されたコア技術を基にあらゆる産業分野に貢献する！**

コア技術 の創出

- 次世代自動車向け製品の開発
～自動車の軽量化に対応した表面機能薬剤の開発
- 航空機市場向け商品の開発
～素材変更、環境ニーズ(クロムフリーなど)への対応
- 多様な機能開発による需要創造
～絶縁性、通電性、親水性、耐指紋性、意匠性など
- 差別化技術の開発
～環境負荷低減、省エネシステムの開発など
(廃棄物削減、処理工程短縮、工場レイアウトの簡略化を実現
するシステムの開発)
- 基盤研究の強化

研究開発 の効率化

- 将来の成長分野を意識した研究テーマの選定
- 研究テーマ立案時の市場・顧客ニーズの視点を強化

製品市場化ま での期間短縮

- 試作プラントを有効活用した早期量産化の確立

企業体質の基盤強化

3G(Global・Group・Governance) の観点から、企業体質を強化する！

品質管理 の強化

- グローバル品質管理の強化

コスト削減

- 原価低減(調達、生産、供給のグローバルでの最適化)
- 間接業務の効率化

グローバル 人材育成

- グローバル化が加速する経済環境で戦い抜ける人材の育成
- ダイバーシティ推進(外国人や女性の積極的登用)

グループ 連携強化

- 販売、購買、生産、品質、研究、管理の全てのプロセスでグループ連携を強化

ガバナンス 強化

- ディスクロージャーの充実
- リスク管理の強化
- 内部統制及びコンプライアンスの強化

セグメント別の重点施策

■ 薬品事業

- 次世代自動車技術への対応
- 航空機市場でのビジネス拡大
- 電子部品、エネルギー分野などへの用途開発促進
- 環境対応、高付加価値製品の開発

■ 装置事業

- 差別化技術の開発による付加価値・ブランド力の向上
- デュール社(独)との業務提携を生かした技術力・商品力の向上
- 国内外での新規市場の開拓

■ 加工事業

- アジア地区や北中米地区での熱処理加工事業の拡大

IV. 2017年3月期 業績見通し



2017年3月期 業績見通し

単位:百万円

項 目	2016/3	2017/3	増減	
売 上 高	109,063	106,000	△3,063	△2.8%
営 業 利 益 (営 業 利 益 率)	15,766 (14.5%)	15,500 (14.6%)	△266	△1.7%
経 常 利 益 (経 常 利 益 率)	17,921 (16.4%)	17,500 (16.5%)	△421	△2.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,320	10,200	△120	△1.2%

- 国内:前年並みで推移
- 海外:現地通貨ベースでは増収も、円高の影響により円換算後は減収
- 前提為替レート:108円/ドル

2017年3月期の配当予定

■ 基本方針

- 安定的な配当の継続を重視し、業績動向及び配当性向など総合的に勘案し利益配分を決定しております。
- 企業として財務体質強化と将来の利益確保に備えるべく内部留保にも努めており、内部留保した資金は、市場ニーズに対応した研究開発や市場の要求する品質コストを実現するための設備投資及び海外投資に活用しております。
- 配当につきましては、単体ベースでの配当性向30%を目処に、連結業績も十分考慮した上、将来の事業展開及び収益水準を勘案しつつ決定してまいります。



■ 2017年3月期 配当予定

- 2017年3月期の配当に関しましては、現時点では未定であります。業績等を勘案し、上記の基本方針に従い、株主の皆様に対する適切な利益還元策を都度検討してまいります。

その他のトピックス

➤受賞

第34回スガウェザリング財団賞『科学技術賞』を受賞しました

業績題目：

ウェザリング技術を基盤としたクロムフリー表面処理技術の開発と普及

スガウェザリング財団賞とは：

自然環境における工業材料の腐食、退色などの劣化現象を「ウェザリング」といいます。

スガウェザリング財団賞は、公益財団法人スガウェザリング技術振興財団によって創設された賞で、加速試験等による寿命評価、劣化機構の解明、表面処理等による耐劣化性の向上などに顕著な業績を上げた功労者の表彰をすることにより、本分野の技術振興を図り、わが国の産業発展および国民福祉の増進に貢献することを目的としています。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、a) 経済状況、b) 為替レートの変動、c) 製品競争力、d) 法的規制、e) 知的財産保護の限界などが含まれます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。

Jump up to Tomorrow

